

さいたま市立内谷中学校



教育目標 ・進んで学ぶ ・心豊か ・たくましく
令和6年5月29日

さわやか相談室 TEL 048-865-7573

〒336-0034 さいたま市南区内谷 6-10-1 TEL 048-861-7571 <http://uchiya-j.saitama-city.ed.jp>

まさかを乗り切れ

校長 高山 俊介

制約から解放され、にぎやかさを取り戻した今年度の5月は、入学・進級に関わる一連のあわただしさも一段落して、授業も軌道に乗り、中間テストが近くなるにつれ、生徒たちの顔つきも真剣さを増していきました。そして、1年生にとって初めての中間テストは、本校の教え合い学び合いの伝統的な取組である2年生が先生役になって行った「定期テストなんてこわくない」（定期テスト対策のプレゼン）の教えを活かして精一杯取り組んでいました。部活動では、まず、陸上競技部が全日本中学校通信陸上競技大会さいたま市予選会にて、日頃の努力の成果を発揮しました。その他の多くの運動部活動は、さいたま市中学校総合体育大会兼さいたま市民スポーツ大会（以下、「体育大会」）の抽選会により対戦相手（日程詳細裏面）も決まり、冬季の練習の成果を発揮しようと生徒たち・先生方の大会にかける想いのギアがあがっています。コロナ禍だった同時期に比べ、あいさつの声も大きく、とても頼もしく感じるとともに、気運の高まりを実感しています。

一方で、そのような時期だからこそ、ストレスや不安がじわりと心身の疲れを生み出すこともあります。テストが返却され、まさかと思うこともあるでしょう。私たち教員は、新緑の間を吹き抜ける穏やかな風・薫風に、爽やかな若葉の香りを感じる心の余裕をもち、生徒の表情や行動をきめ細やかに見とることが大切です。疲労の蓄積や周囲との充実感の差に焦り、心のエネルギーの減退による「五月病」から休みがちにならぬよう、様々の立場の教員が関わりをもてる中学の教職員チームの強みを十分に発揮し、組織で見守ってまいります。



さて、大きな体育的な教育活動が続く6月は、上旬に体育大会が開催され、中旬には体育祭を実施いたします。3年生にとっては、最後の大きな体育大会・体育祭となり、冒頭でふれたように大会や行事に強い想いをもって取り組んでいます。ただ、競う相手も同じかそれ以上の思い入力で日々取り組んでいることが予想できますので、うまくいくことばかりではありません。

そんな時の心のもちようの参考として、詩人・山本よしき氏の詩を送ります。

人生には上り坂と下り坂と
「まさか」の坂がある

そのまさか（魔坂）の時
どう振舞うかで
その人の未来が決まる

どうすればいいか

それは「まさか」を「なんだ坂」と
「こんな坂」の二つの坂に変えるんだ

そうすると まさかを乗り切れる

「下り坂」は 回れ右をすれば
「上り坂」になる

目の位置を変えると

ピンチはチャンス